

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月14日

計画の名称	稲沢市における公共下水道の防災・安全対策の推進（防災・安全）													
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	稲沢市													
計画の目標	稲沢市下水道総合地震対策計画に基づいた、下水道施設の耐震化を推進し、安全・安心な暮らしと都市機能の保全を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		32	A	32	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H30末	H31末
1	「重要な幹線等」のうち、簡易診断において緊急整備（危険度）の対象とした施設（8,040m）の耐震化達成率を68%（H30当初）から、100%（H31末）に増加させる。 下水道施設における重要施設の耐震化達成率 耐震化対策済み延長（m）/簡易診断において緊急整備（危険度）の対象とした施設延長（m）	68%	74%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
総合地震												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	稲沢市	直接	稲沢市	管渠(汚水)	改築	下水道総合地震対策(地震対策)	管きよ更生 L=196m	稲沢市						32	-	-
総合地震																			
											小計						32		
											合計						32		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
稲沢市下水道課において、事業の効果及び目標値の達成状況を検証し、今後の方針等について検討した。	令和2年度
	公表の方法 市公式ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	耐震化対策を行ったことにより、想定される地震動に対して、重要な幹線等のうち交通への影響の大きい箇所や防災拠点等に接続している箇所の流下機能確保及び二次災害発生防止が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の耐震化対策においては、重要な施設等のうち優先度の高い区間から順次対策を進める。 ・上位計画である地域防災計画等に記載のある総合的かつ計画的な防災対策の推進をより一層図っていく。 ・今後は減災対策として優先度の高い避難所から順次マンホールトイレの整備を進める。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%